

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2024年
11月号
NO. 313

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい――



今月の特集

次期「地域農業振興計画」・「中期3ヶ年経営計画」策定にかかる

組合員意向調査結果報告

キャベツの収穫作業
Photo by SOGA Takahiro



農業を通して培った兄弟の「結束力」 共に描く未来に2人の姿

厚別地区組合員 佐藤 角栄さん 栄治さん

共に農業に携わって20年。話す言葉は少なくとも、良質な野菜作りを目指して互いに切磋琢磨する兄弟の姿を追いかけた。

得意分野を活かした 作業分担

江別方面へ車を走らせると、石狩川の堤防に沿い広大な平野が広がる。その一角にある、一面緑色を纏った圃場が佐藤農園だ。

佐藤農園では現在、10 haの畑でキャベツや春菊、ほうれん草、馬鈴薯などを作付し、市場へ出荷しているほか、レタスは契約販売を行なっている。

3代目の佐藤角栄さんが就農したのは34年前。幼い頃から畑に親しみ、大学卒業後に農業の道へ進んだ。一方、3学年下の弟・栄治さんは、企業勤めを経て32歳で就農。

「兄とは違って手伝いもほとんどしたことがなかったし、自分が農業をする日が来るなんて、思わなかったですね」

兄弟揃って農業に携わるようになり20年が経つ。角栄さんの担当は、現場管理や作付量の決定など、経営方針に関する事。経理などの事務は栄治さんが、会社員時代の経験を活かして担

う。経験や得意分野を活かした、作業分担だ。

取材時は、キャベツの収穫が行なわれていた。角栄さんに栄治さん、母の雅子さんとパート従業員の計9名、収穫から箱詰めまでの一連の作業には、何一つ無駄がなく、見事に連携が図られていた。

「若い頃は平気だったことも、年を重ねると体力的に厳しい時があつてね。兄弟で農業をするなんて、一つもイメージしなかったけれど、弟がいてくれて本当に良かった。なるほど、という助言をくれるし、助かっているよ」

安全・安心はもとより 良質な生産を目指して

露地栽培の葉物野菜は特に、気象の影響を大きく受ける。天候が読み切れなかった昨年は、多くの品目が商品にならず、かなりの打撃を受けた。異常気象という捉え方ではなく、大雨も干ばつも当たり前、とマインドを切り替えた。



1



2



3



4



5

1. キャベツ、レタスを主に生産する佐藤農園 2. 約20kg 近くにもなるキャベツの入った箱を手作業で積み上げる 3. 久しぶりに撮影した家族写真 左：角栄さん 中：雅子さん 右：栄治さん 4. 箱詰めされたキャベツを運ぶ栄治さん。この作業の担当は角栄さんと栄治さんの二人で担う 5. 生命力溢れる新鮮なキャベツ

「うちは、多品目の野菜を生産してるんだ。それらを輪作して、後作に相性の良い野菜を組み合わせることで病害虫の発生を抑えて、結果、減農薬につながるんだ。あとは、作物がよく育つことで収量アップを目指しているね」と角栄さんは話す。

キャベツやレタスの畑には、有機肥料を畑全面に撒き、数日後にロータリーをかけて土になじませる。

定植は1度に5〜6千株の苗を植え付け、収穫後には再度土づくりから丁寧に行なう。そしてまた、新たに定植。それを10回余り時期をずらしながら行なうことで、収穫時期を調整し、7月から10月まで長期間にわたって出荷できるように栽培している。

兄弟が描く未来の姿

取材時も時折短く言葉を交わし、程良い距離を保つ2人だったが、最後に「兄貴のあのエピソードいいんじゃない」と栄治さんが教えてくれた。

「兄は日本で1番キャベツとレタスを食べていると思います。『消費者に安心してもらうためには、まずは自分が食べな

いと』って毎日大きなどんぶり一杯食べているんですよ。前世は青虫だったんじゃないかと思うほどで(笑)」

「大げさではなく、若い頃からずっと続けているんだけど、日々変化する野菜の状態もわかるし、身体の調子も良いから、一石二鳥だね」と角栄さんは笑う。自ら消費することで、状況把握を怠らず、常に作物と向き合っている。

「今作っているものをいかに確実に、良質なものを出荷していけるか。体力勝負なので、健康に気を付けてあと10年は頑張りたいし、2人でやれるかぎり続けていきたい」と角栄さん。

「兄貴のいうとおり、兄弟の信頼があるので、仲良くお互いに助け合っているものを作り続けたいですね」と栄治さん。

幼い頃、互いの未来に描かれた兄弟の姿。

長い月日を重ね、「農業」を通してさらに深まった結びつきから生み出される空気感と互いへの敬意。

今2人が描く未来には「農業を続ける兄弟」の姿が鮮明に映し出されていた。

次期「地域農業振興計画」・「中期 3 ヶ年経営計画」策定にかかる 組合員意向調査結果報告

今年度は、令和 7 年度から始まる新たな「地域農業振興計画」・「中期 3 ヶ年経営計画」の策定年度にあたります。合併後初めてとなる計画策定にあたり、組合員皆さまの意向を反映すべく、本年 5 月に組合員意向調査を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

J A さっぽろでは、組合員皆さまと共に創りあげる豊かな農業と地域社会の実現を目指し、寄せられた貴重なご意見・ご要望を反映した計画の策定を進めてまいります。今回の特集では、意向調査の結果について、ご報告いたします。

地域農業振興計画・中期 3 ヶ年経営計画とは

地域農業振興計画

地域農業の目指すべき将来像を掲げ、持続的な地域農業の発展に向けて地域ぐるみで農業を振興する方向性を示すもので、その実現に向けて組合員（農業者）と J A が一体となり取り組むものです。

中期 3 ヶ年経営計画

J A さっぽろが目指す、「農業」・「地域」・「協同組合」の発展のため、持続可能な収益性と将来にわたる健全性を確保した J A 経営基盤を確立するための具体的な実行計画を定めたものです。

意向調査結果の概要について

回答数 861 件（意向調査送付数 3,113 件 回答率 27.7%） ※うち札幌地区：734 件、石狩地区：127 件

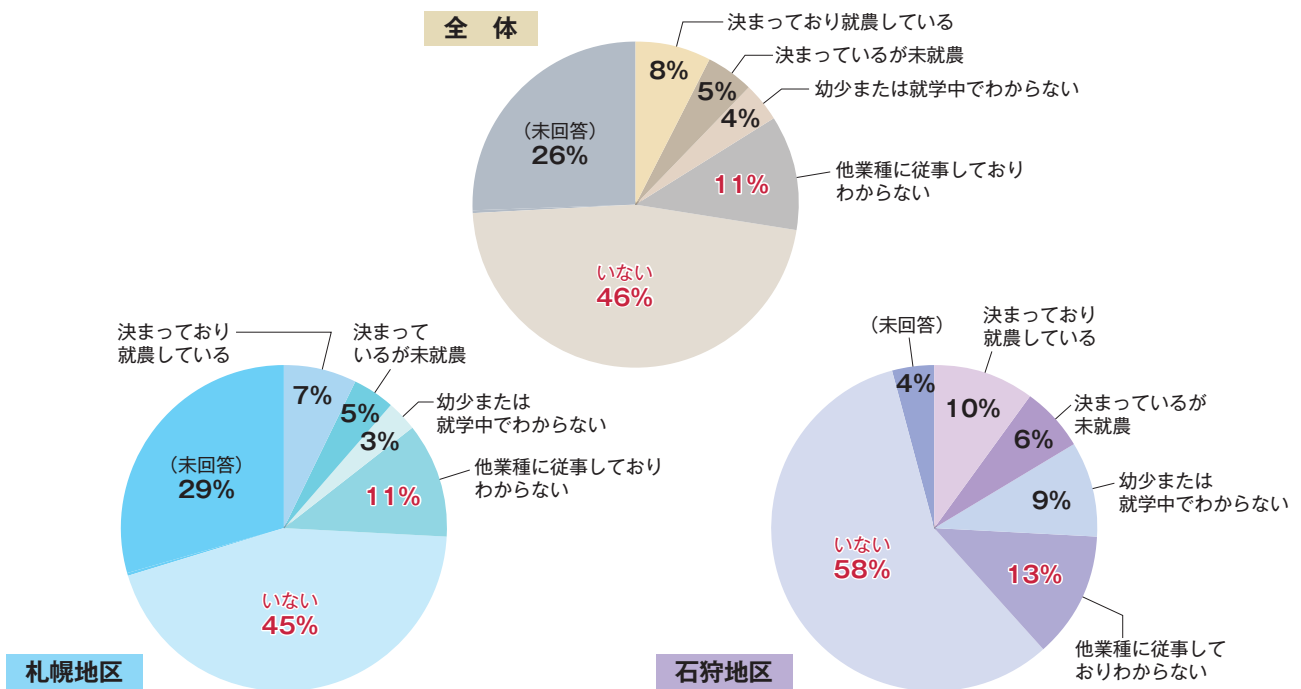
● 年齢構成 (未回答を除く)	区分	回答数		うち札幌地区		うち石狩地区	
	29 歳以下	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
	30 歳～39 歳	4	0.5%	4	0.6%	0	0.0%
	40 歳～49 歳	33	3.8%	19	2.6%	14	11.0%
	50 歳～59 歳	63	7.3%	47	6.4%	16	12.6%
	60 歳～69 歳	195	22.7%	168	23.0%	27	21.3%
	70 歳～74 歳	142	16.6%	118	16.1%	24	18.9%
	75 歳以上	420	49.0%	374	51.2%	46	36.2%

● 収入構成 (未回答を除く)	区分	回答数		うち札幌地区		うち石狩地区	
	農業収入が主である	105	12.6%	54	7.6%	51	41.1%
	農業収入が農業以外の収入より多い	29	3.5%	14	2.0%	15	12.1%
	農業収入と農業以外の収入が半々	76	9.1%	66	9.3%	10	8.1%
	農業以外の収入が農業収入より多い	124	14.9%	106	14.9%	18	14.5%
	農業以外の収入が主である	500	60.0%	470	66.2%	30	24.2%

● 経営面積構成 (未回答を除く)	区分	回答数		うち札幌地区		うち石狩地区	
	10a 未満	238	40.1%	223	46.8%	15	13.0%
	10a～1ha 未満	152	25.6%	122	25.6%	30	26.1%
	1ha～5ha 未満	113	19.0%	93	19.5%	20	17.4%
	5ha～10ha 未満	35	5.9%	20	4.2%	15	13.0%
	10ha～20ha 未満	31	5.2%	12	2.5%	19	16.5%
	20ha～30ha 未満	11	1.9%	4	0.8%	7	6.1%
	30ha～50ha 未満	4	0.7%	2	0.4%	2	1.7%
	50ha 以上	10	1.7%	3	0.6%	7	6.1%

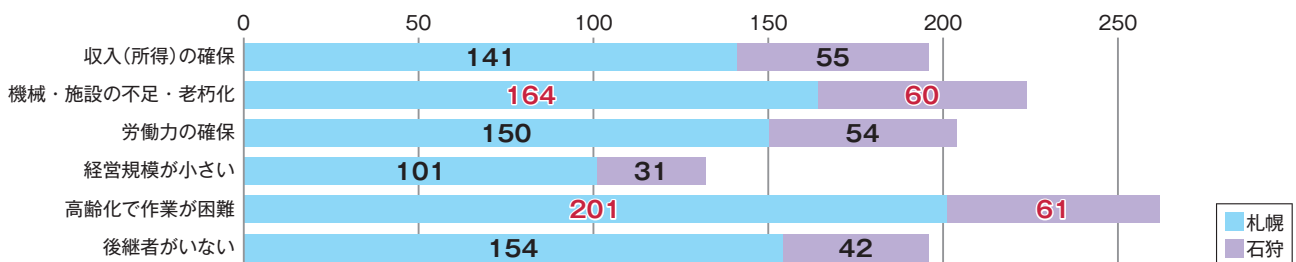
●各地区の上位 2 項目の数字を赤色で表記しています(未回答を除く)。

1 農業後継者の有無は？



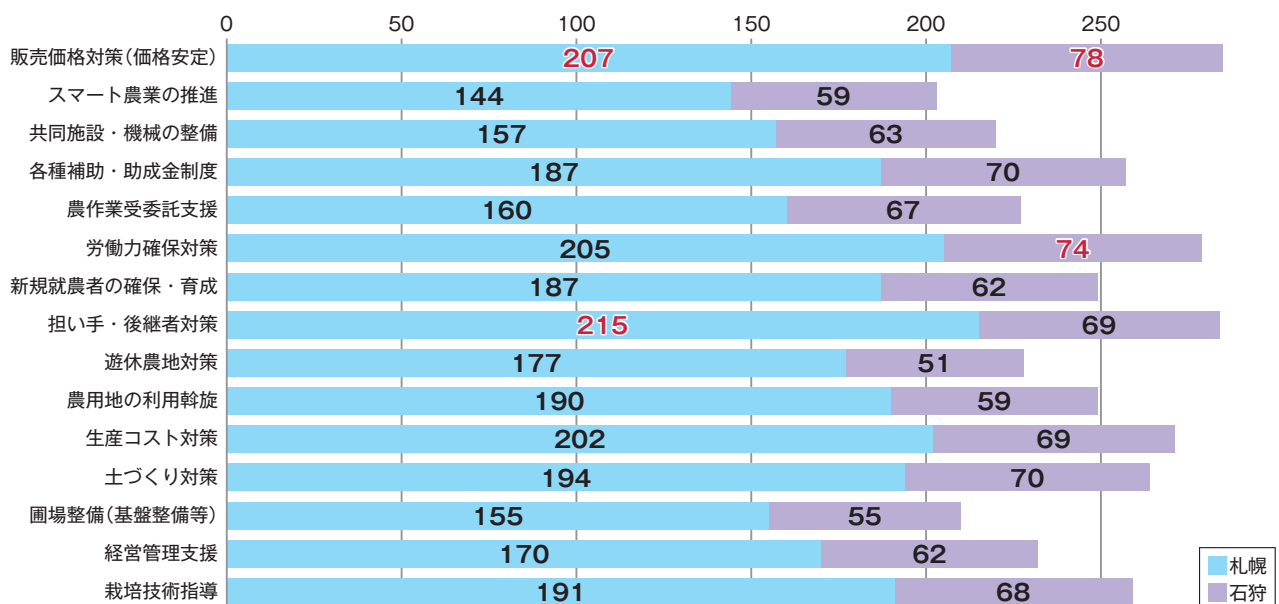
2 農業経営上の課題は？

※「大きな問題」または「問題」と回答した合計値



3 生産・販売および農業振興に必要な対策は？

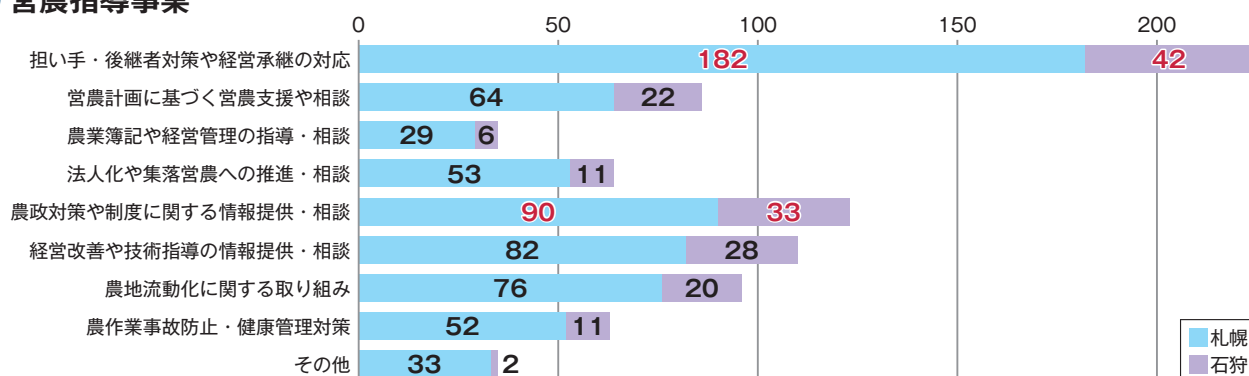
※「大いに必要」または「必要」と回答した合計値



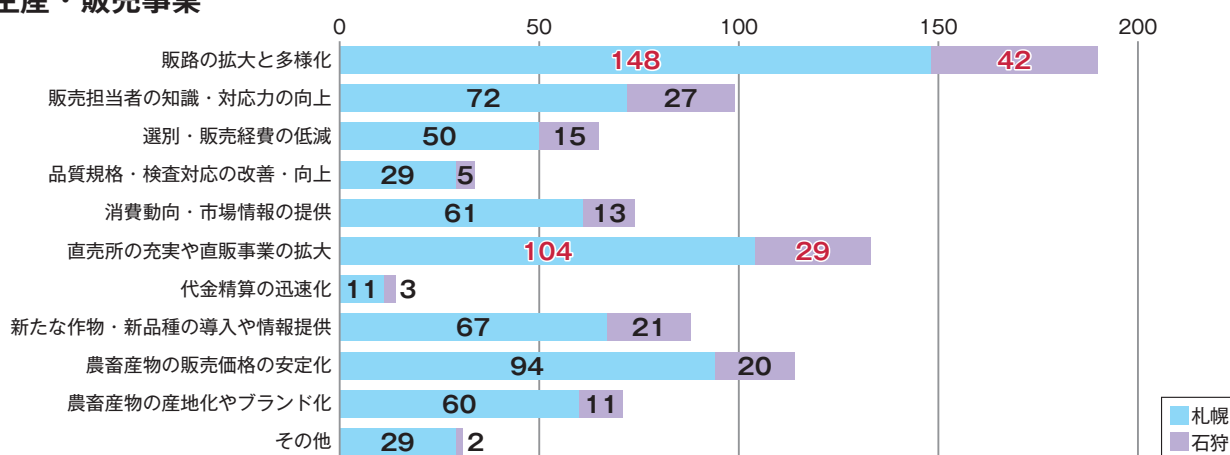
4 JAの各事業で強化すべき点は？

※最も必要と思われるものを2つ以内で選択

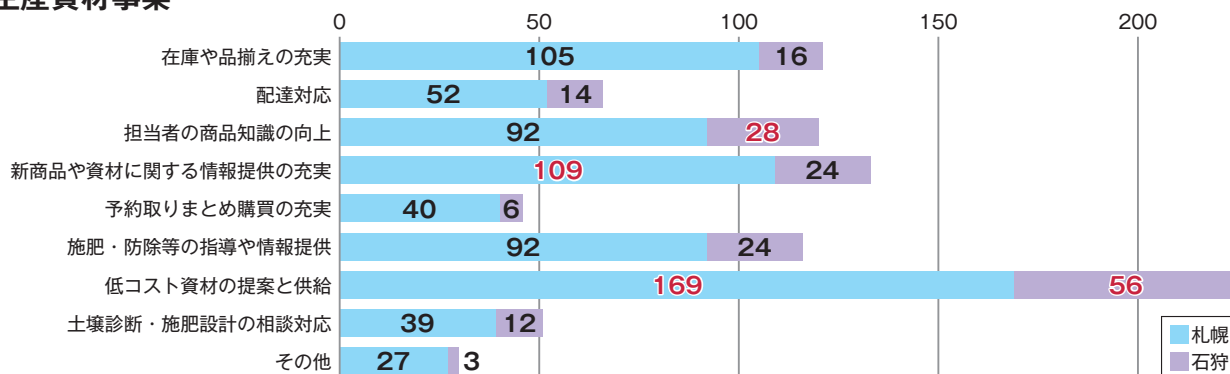
① 営農指導事業



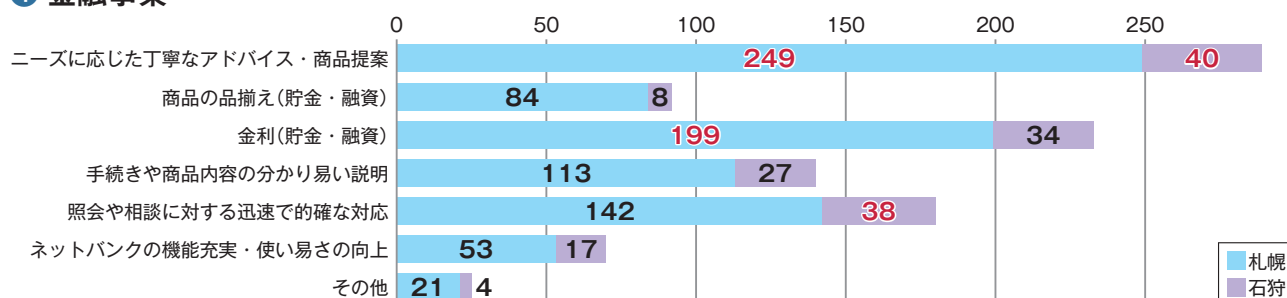
② 生産・販売事業



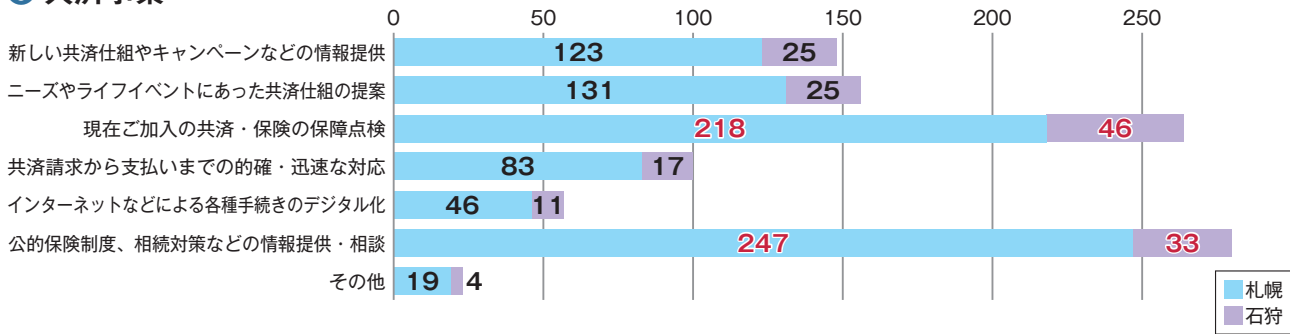
③ 生産資材事業



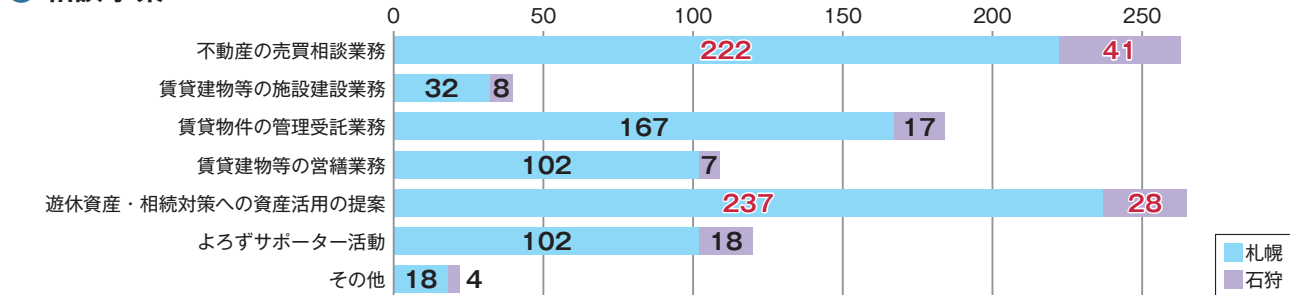
④ 金融事業



5 共済事業

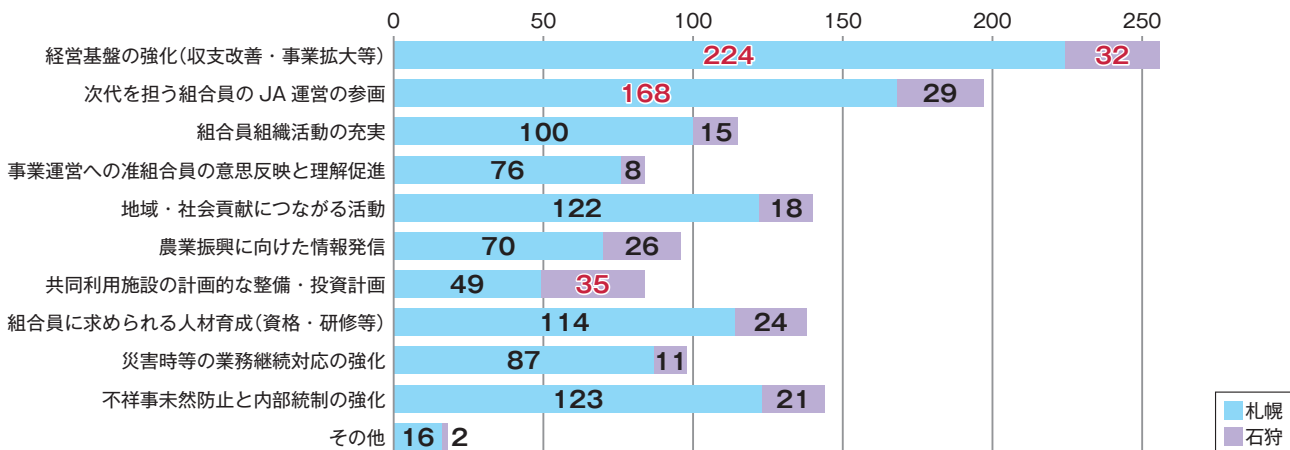


6 相談事業



5 これからのJA運営において必要なものは？

※最も必要と思われるものを3つ以内で選択



6 地域農業振興・JA事業運営に関するご意見・ご要望は？

※ご意見やご要望の内容を主な項目別に集計

主な項目	件数	主な内容の内訳
JA事業運営について	26	合併効果・課題(7)、支店再編・強化(4)、農業振興と経営方針(3)、組合員・職員の人材育成(3)、地域農業振興計画・中期3ヶ年経営計画の策定(2)、その他(7)
農業振興方策について	23	農産物直売所(3)、遊休農地・転用等(4)、振興作物の生産(3)、後継者・担い手対策(3)、農政対策(2)、地域農業の課題・対応(3)、その他(農業生産構造、ブランド化、イベントPR、スマート農業など)
経済事業関連	12	経済センター合理化(2)、販売強化(2)、生産資材供給(2)、その他(人材育成、体制整備、収支改善など)
信用事業関連	2	農協ならではの金融事業について、農業関連融資
共済事業関連	1	罹災対応について
相談事業関連	7	相続対応・強化(5)、賃貸管理業務(空室対応)、資産運用(売買等)
その他	9	

以上のとおり、地域農業振興やJA事業運営などに関し、たくさんのご意見やご要望をいただきました。
いただいたご意見・ご要望につきましては、次期「地域農業振興計画」・「中期3ヶ年経営計画」への反映のみならず、今後の事業運営の参考とさせていただきます。

9/8日 アンパンマンたちと交通ルールを楽しく学ぼう！

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」開催！ in つどーむ



(©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV)

1日2公演を実施。このイベントは、自動車共済も扱うJA共済の「交通事故を減らしたい」という願いを込めた、社会貢献活動のひとつです。

生産者の対面販売ブースでは、多くのお客様が会話を楽しみながら買い物をされていました。



アンパンマンとその仲間たちの歌や踊りを通じて、子どもたちや保護者に交通ルールとマナーについて知ってもらうことを目的として開催したこのイベントに、約3,200人が来場されました。

また別の会場では、ドライブシミュレーターでの運転体験で交通安全啓蒙活動を行なったほか、生産者による直売やJAさっぽろ産の農畜産物を使用したキッチンカーの出店など、地産地消を推奨する取り組みも併せて開催し、イベントを盛り上げました。

アンパンマンと一緒に歌って踊り、子どもたちの歓声が鳴り止まない賑やかな一日となりました。

9/21日 さとらんど「さとのたまねぎフェア2024」

青年部「玉葱詰め放題」、女性部「特製豚汁販売」大盛況！

青年部本部と女性部本部では、「さとのたまねぎフェア2024」に出店、玉葱の詰め放題と特製豚汁の販売を行ないました。どちらも今年で3年目の取り組みです。

青年部の玉葱詰め放題コーナーでは、北札幌地区と篠路地区の部員が生産した700kgの玉葱をコンテナで用意。積み上げられたコンテナが次々に空になり、昼頃には販売終了となりました。

女性部の特製豚汁は、「近郊でこんなにおいしい農畜産物が生産されていることを知って欲しい」との思いから、札幌黄玉葱や札幌白ごぼうなど、札幌産にこだわった食材を用意。この豚汁を目当てに来場したお客様も多数おり、用意した300杯が昼過ぎには完売となりました。

青年部本部
女性部本部

赤玉の玉葱も登場！
人気を博しました。



豚汁販売ブースの前で記念撮影。さあこれから販売開始！気合いが入ります。



秋らしい、少し肌寒さを感じる気温となったこの日。温まりたい...と思って館内に入ると豚汁の香りが！「おいしかった」の声が何より嬉しいと部員の皆さんが口々に仰っていました。

まつり参加！収穫感謝祭開催！3地区で

9/28(土)・29(日) 石狩さけまつり

**地域のまつりで、1分間のにんじん詰め放題！
新規就農者による直売も実施**

営農販売部



山積みになっているにんじんは、なんと1.5t！
1分間という制限時間のなかで、どれだけ詰め
ることができるのか？それが楽しみで来場
したというお客様もいました。



「石狩産の野菜はいかがですか〜」。
新規就農者の皆さんが、トマトや
ピーマンなど、石狩産の野菜を直売
しました。

鮭と共に反映してきた石狩
市の歴史を後世に残すこと、
同市の秋の味覚の魅力を発信
することを目的として開催さ
れた「第59回石狩さけまつ
り」。営農販売部では2日間
にわたり、にんじん詰め放題
と新規就農者による直売を実
施しました。

10/5(土)「とれたてっこ南」収穫感謝祭・10/12(土)「しのろとれたてっこ」収穫感謝祭
**店舗前にブースを設け、生産者が年に一度の直売！
収穫感謝祭らしい賑わいをみせる**

「しのろとれたてっこ」
生産者直売所

とれたてっこ南

直売ブースには、南区なら
ではのぶどうやりんご、プ
ルーンなどの果樹のほか、大
根や白菜などの野菜類も並べ
られ、にんじん・洋梨の詰め放題や、特売目玉商品
の販売、お買い上げ金額に応じた抽選会の実施
等、お楽しみ感のある祭りとなりました。



年に一度、生産者が
直接消費者と触れ合
うこの日。「こうして
食べてくれる人の顔
が見られるのは嬉しい」と話す方もおり、
楽しそうに会話する
姿が見られました。

ハズレなしのお楽し
み抽選会。南区産の
お米や古川ボークも
景品に名を連ねてお
り、上位の賞が出る
たびに、鐘の音が会
場に響いていました。



しのろとれたてっこ

直売ブースには、伝統野菜の「札幌白ご
ぼう」やブロッコリー、じゃがいも等が並
べられ、札幌黄・男爵・にんじん・ニンニ
クの詰め放題も大賑わいでした。



玉葱・じゃがいもの販売コーナーでは、2箱3箱…と、た
くさん購入される方が多数いらっしゃいました。お客様の
要望を聞きながら、箱・ネット・サイズ・品種からの確に
判断し、瞬時におすすめできるのはさすが生産者です！

「ニンニクの詰め放題
なの？珍しい！」。白
いきれいなニンニク
がびっしり詰まったコ
ンテナを囲み、多く
のお客様が詰め放題
を楽しんでいました。



9/9月・10火

相談部

「相談事業育成研修会」実施
提案力の習得を目指す

渉外担当者・経済部門担当者12名の職員を対象に、令和6年度「相談事業育成研修会」を実施しました。

この研修は、組合員が抱える様々な「困りごと」に対して、担当者の対応力や提案力の習得と向上を目的として例年開催しており、今年度も相続対策や資産運用、不動産に係る諸問題について、解決に導く提案の習得を目指しました。

座学研修では、相続が発生した場合の確認事項や相続税の計算、賃貸物件の管理やインボイス制度など広範囲にわたる内容を取り扱い、課外研修では、実際の事業地や施設建設活用地を見学し、事業完成までの流れを学びました。

相談部ではこのような研修を通じて、「対話」に重点を置き、組合員の資産状況や価値、相続対策などに寄り添った的確な提案ができる職員の育成に注力し、担当職員がよろずサポーターと連携を図り、組合員皆さまの相談に対応していける体制を整備します。

(大久保特派員)



相談部の職員が講師を務め、受講した職員は新たな見識を広げました。

9/10火

畜産部会

デントコーン収量調査
生育は順調、収量も増

畜産部会(萩中昭夫部会長)では、令和6年度デントコーンの収量調査を北区と石狩の3圃場で実施し、部会員8名が参加しました。

調査結果についてはサンプル分析の結果に時間がかかるため、後日行なう予定の研修会での報告となりますが、農業改良普及センターの担当者からは「生育状況は順調で、収量も昨年より増が見込める」との講評をいただきました。講評後は参加者揃って焼肉を食べながら歓談し、懇親を深めました。(中川特派員)



北区屯田の山西部会員の圃場にて。

9/13金

資産管理部会・青色申告会 篠路支部

白老方面で日帰り研修旅行
アイヌの歴史や文化を学ぶ

資産管理部会篠路支部(嶋順一支部長)、青色申告会篠路支部(山本和夫支部長)では、白老方面への日帰り現地研修会を開催し、会員17名と職員3名が参加しました。

研修先のウポポイ(民族共生象徴空間)では、重要無形民俗文化財指定の「アイヌ古式舞踊」やムツクリ演奏を鑑賞、我が国の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌの歴史・文化を学び貴重な体験となりました。

天野ファミリーファームで白老牛を堪能し、お腹を満たした後、虎杖浜の大漁番屋で虎杖浜タラの詰め放題にチャレンジ、マザーズプラスにて買い物を楽しみ、大満足な研修旅行となりました。(宮本特派員)





家族連れのお客様が多数販売ブースに立ち寄り、両手いっぱいの野菜を購入していました。

9/16(月)・祝

地物市場「とれのさと」 円山動物園でPR即売会 JAさっぽろ産、大好評！

地物市場「とれのさと」では、連携中枢都市圏の取り組みの一環として、石狩市産業振興部観光課と連携して円山動物園で農産物の即売会を開催しました。この日は天気にも恵まれ、10時の販売開始から列が途切れることなく賑わいを見せました。

特に、朝採れとうきびは当初用意していた100本が1時間程で完売となったことから急遽100本追加するほど大人気。来園された方は「今日買った新鮮な野菜は早速こどもと美味しくいただきます。動物園に来て朝採れのとうきびが買えるなんて良い一日になりました」と話していました。

9/19(木)

資産管理部会・青色申告会 白石支部 支店会議室で合同研修会 JAの施設建設がテーマ

資産管理部会白石支部(兼子敏副支部長・長濱好博副支部長)、青色申告会白石支部(越野泰蔵支部長)では、白石支店会議室にて合同研修会を実施し、会員15名が参加しました。

今回の研修テーマは「JAグループ施設建設の仕組みと施行例について」。ホクレン施設資材部の長沢誠課長代理を講師に迎え、事業用物件の建設にどのようにJA・ホクレン・全農が関わっているのか、また建設保障の仕組み等について、実際に施工した建物写真をプロジェクトに投影し、説明していただきました。その後、賃貸保障会社ジェイリース(株)のスタッフによる商品説明の時間を設け、賃料延滞や原状回復の各種リスクを保障する商品についてお話いただきました。

所有する不動産の運用を見直すきっかけとなる、充実した研修会となりました。

(西村特派員)



9/20(金)

白石支店 1統括支店1協同活動 暮らしやすい地域のために 2カ所で交通安全啓発運動

白石支店では、交通量が多くなる朝の通勤・通学の時間に合わせて、交通安全啓発運動を行いました。

この活動は「1統括支店1協同活動」として、地区組合員とJA職員が地域の皆さんと一緒に、地区と白石地区の2箇所で行なう交通安全啓発活動の1つであり、菊水元町地区と白石地区の2箇所で行なう交通安全啓発活動の1つです。

総勢31名の参加者は、揃いのジャンパーに身を包み、沿道から「スピードダウン」「シートベルト着用」などと書かれた旗を振りながら行き交う車に交通安全を呼びかけました。

(藤田特派員)



菊水元町地区の様子。



白石地区の様子。



初競りを見守った、玉葱部会役員の皆さん。左から澤田喜幸部会長、中村幸男副部会長、片岡智副部会長。



令和6年は16ha、約30戸で作付が行なわれました。

(永田特派員)

今年度も、札幌伝統野菜のひとつ「札幌黄」玉葱が初出荷の日を迎え、札幌市中央卸売市場にて10kg1箱1万円のご祝儀価格で競り落とされました。

札幌黄は、肉厚で柔らかく、加熱するといっそう甘みを増すことから、根強いファンも多い品種。病気にかかりやすく栽培が難しいことから流通量は少なく、「幻の玉葱」とも呼ばれています。

仲買人の威勢の良い掛け声とともに競り落とされた札幌黄は、市内を中心にスーパーや飲食店に出荷され、12月まで販売される予定です。

9/21(土)

経済部 営農販売課

「札幌黄」玉葱、初出荷

ご祝儀価格で競り落される

9/25(水)

厚別支店 1統括支店1協同活動

牧場見学と動画視聴で

牛と牛乳を学ぶ食育授業



厚別支店では、同支店組合員が経営する小林牧場と、地元工場を構える新札幌乳業株にご協力いただき、信濃小学校3年生の児童70名を対象とした食育授業を行いました。

この取り組みは、1統括支店1協同活動として同支店が継続して行なっているもので、牧場見学や動画視聴を通じて、学校給食で毎日飲んでいる牛乳が出荷されるまでの過程を学んでもらおうというものです。

質問タイムでは、好奇心をそらされた児童から小林さんや新札幌乳業の皆さんへ、終わりが見えないほど多くの質問が投げかけられ、「小林牧場物語のむヨーグルト」の試飲や嬉しいお土産もあり、児童だけではなく保護者や先生方にも大いに喜んでいただけた一日となりました。

(土田特派員)



児童に牛の飼育方法を説明する、小林牧場の小林智行さん。児童は一樣に、間近で見る牛に大興奮な様子でした。

10/2(水)

青色申告会豊平東部支部 資産管理部会豊平支部

余市方面へ合同日帰り研修

共に楽しいひと時を過ごす

青色申告会豊平東部支部(樋口栄一支部長)、資産管理部会豊平支部(廣澤哲二支部長)では、会員16名と職員2名が参加し、余市方面への合同日帰り研修会を行いました。

あいにくの雨模様でしたが、視察先に到着することには不思議と雨が止み、午前中の妹尾観光農園・余市ワイナリー・柿崎商店では買い物を満喫することが出来ました。昼食は青塚食堂で海鮮丼を堪能し、午後からは小樽市総合博物館で主に鉄道の歴史を見学しました。両支部長より「昨年に引き続き、会員の皆さまのご協力で研修会を実施できたことを嬉しく思います。今回も楽しいひと時を過ごすことが出来ました」との謝意が述べられ、充実した研修会となりました。

(斉藤特派員)



小樽市総合博物館にて



地域住民や丘珠自衛隊、北海道教育大学生のほか、篠路支店も保存会のメンバーです。今年は飯澤係長と日下職員が、獅子の一員として舞に参加しました。

篠路神社で今年も、篠路獅子舞の演舞が行なわれました。この行事は、今年で124年の歴史を持つ篠路地区の伝統行事です。

富山県から入植した開拓者が、厳しい開墾の苦労のなか娯楽を求めて行なわれたと伝えられるこの獅子舞を後世に引き継ぐため、篠路烈々布地区の組合員を中心として構成される篠路獅子舞保存会が、この行事を取り仕切っています。

頭から尾までを大人8名で担う大きな獅子舞。今年は獅子頭を、同地区組合員の熊木大輔さんが務めました。笛と太鼓の音色が響き渡る境内で、多くの参拝客に見守られながら、8人が足並みを揃えた舞を披露しました。(飯澤特派員)

10/5(土)

篠路獅子舞保存会

124年続く伝統行事 篠路獅子舞、今年も演舞

10/5(土)・6(日)

地物市場「とれのさと」

2日間の「新米フェア」開催 約1,600袋販売、大盛況

10月最初の週末、地物市場「とれのさと」で「新米フェア」が開催され、両日とも開店前から長蛇の列となりました。

米の価格が高騰しているなか、同店ではイベント価格として5kg入りを通常価格より100円引きでの販売を実施。開店を待つ列に並んでいたご夫婦は「今はどこで買っても高いけれど、ここなら他店よりも安くおいしいお米があるのではないかと思います」と話していました。

2袋、3袋とカートに積む方も多数いる中、1人で10袋を購入された方も！2日間で約1,600袋を販売し、大盛況となりました。



店舗入口の両脇に米袋を積み上げ、「お米ロード」でお客様をお出迎えました。店内はお米を積んだカートを押す方でいっぱいになりました。

10/6(日)

経営企画部 広報課

チ・カ・ホで写真展を開催 色鮮やかな農の世界を展示

札幌市の札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)にて、札幌市との共催による写真展を開催し、「虹の大樹」の表紙写真撮影に協力する、フォトグラファターの曾我孝博さんが撮影した生産者の写真160枚を展示しました。

この写真展は、札幌近郊でこのようにたくさん農畜産物が生産されていること、日々農業に向き合う生産者の姿を多くの人に知ってもらうことを目的としており、昨年に続き2回目の開催となりました。

チ・カ・ホを通る多くの人が足を止め、色鮮やかな農業の世界に見入っていました。



写真展のテーマは「都市の中心から農業を伝える写真展・紡ぐ」。35名の生産者の写真をパネルで展示しました。

理事会だより

第6回定例理事会

令和6年9月27日(金)午後1時00分より、本店3階役員会議室において定例理事会が開催された。

●協議事項

1、令和6年度燃料手当の支給について
支給基準単価および支給額等の内容が説明され、協議後、可決決定。

2、不祥事案に関する再発防止策について
一連の不祥事案に係る当組合が農林中央金庫に提出する当該部門ごとに定められた今後の再発防止取り組み項目が説明され、協議後、可決決定。

3、『個人情報取扱規程』の一部改正について
個人情報保護法施行規則改正への対応、および口座登録法、口座管理法施行による個人情報の利用目的が拡大したことに對する所要の改正である旨が説明され、可決決定。

4、『特定個人情報取扱規程』の一部改正について

個人情報保護法施行規則改正への対応、および口座登録法、口座管理法施行による

個人情報の利用目的が拡大したことに對する所要の改正である旨が説明され、可決決定。

●報告事項

1、みのり監査法人 期中監査I経過概要報告

2、石狩地区常勤役員による組合員全戸訪問について

3、『准組合員コンベンション2024』の開催について

4、不祥事案に係る行政への報告について

5、「リスク評価書」の定期見直しについて

6、特別債権等の処理状況報告

7、重要管理債権経営状況等報告

8、「金利リスク量基準該当に関する報告書」の提出について

9、令和6年度第3四半期余裕金等運用計画額および運用方針について

10、農作物作況報告

11、8月末財務状況報告

12、8月末組合員加入・脱退状況報告および未済持分譲渡報告

13、9月の動静と10月の予定について

(閉会：午後3時42分)

JAさっぽろDATA

令和6年9月末業務実績

令和6年8月末業務実績

組合員数	正組合員	3,788名	3,793名
	准組合員	34,182名	34,379名
合 計		37,970名	38,172名
出資金残高		74億7千2百万円	74億4千2百万円
販売取扱高		21億4千5百万円	14億9千2百万円
購買供給高		16億4千3百万円	14億1千万円
貯金残高		3,692億1千万円	3,710億1千4百万円
融資残高		1,078億5千6百万円	1,074億9千3百万円
共済保有高		6,327億8千8百万円	6,344億2千5百万円
施設建設取扱高		6千5百万円	6千5百万円
管理受託戸数		4,749戸	4,745戸

JAへの就職希望者 100%就職

(令和5年度実績)

令和7年度第2回学生募集

- 定員 40 名 ●男女共学 ●1 力年

●寮完備(個室) ●通学制開始

●受験資格：満 27 歳未満(令和6年4月1日現在)/
大学卒及び見込、短大・専門学
校卒及び見込、高校卒及び見込

●試 験 日：12 月 7 日(土)

●願書受付：10 月 1 日(火)～11 月 22 日(金)
消印有効

●オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校



一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町 43-1 ☎ 0120-918-417

JAカレッジ

検索

令和7年度より

通学制開始

(正)

営農販売部(石狩)	米麦課	【12月～5月】 〔平 日〕8:45～16:30 〔土曜日〕休業 * 1月～5月は、水曜日・土曜日休業	【6月～11月】 〔平 日〕8:30～17:30 〔土曜日〕8:30～17:30 * 6月は、土曜日休業
	青果課	*米麦乾燥調製施設の稼働期間(7月～11月)は、施設運営計画並びに施設の稼働状況に応じてご案内します。 *ベジタブルファクトリーの稼働は各共撰作物の施設運営計画並びに稼働状況に応じてご案内します。	

(誤)

米麦課と青果課は同じ営業体制となるところを別表記しており、米麦課の営業時間が誤表記となっています。

営農販売部(石狩)	米麦課	〔平 日〕8:30～17:00 〔土曜日〕休業 *米麦乾燥調製施設の稼働期間(7月～11月)は、施設運営計画並びに施設の稼働状況に応じてご案内します。	
	青果課	【12月～5月】 〔平 日〕8:45～16:30 〔土曜日〕休業 * 1月～5月は、水曜日・土曜日休業	【6月～11月】 〔平 日〕8:30～17:30 〔土曜日〕8:30～17:30 *ベジタブルファクトリーの稼働は各共撰作物の施設運営計画並びに稼働状況に応じてご案内します。

「経済部・営農販売部

営業体制のご案内」

19ページ(伝言板)

10月号掲載の左記記事につきまして、内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

10月号掲載記事の誤りについて

さとらんどからのお知らせ

❖お問い合わせはさとらんどへ直接ご連絡ください。
さとらんど 札幌市東区丘珠町 584 番地 2 (011) 787-0223

さとらんどでは、さまざまな講習を実施しています。
さとらんどセンターへ TEL または直接来場にて申込のうえ、ぜひご参加ください！

さとらんど親子工芸講座

クリスマスの松ぼっくりツリーづくり

日 時 12月1日(日) 10:30~11:30
会 場 さとらんどセンター
定 員 親子12組
参 加 費 1,200円/組
申し込み 11月12日(火)から受付



Column My best shot



美しく綺麗で、鮮やかに発色されひとつひとつが美術品の様で、手抜きのない丁寧な仕事が見ただけで分かる。本当に凄いです。

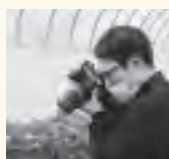


Photo by 曾我 孝博
2020年からフリーランスのフォトグラファーとして主に札幌市内で活動。今年度も引き続き「虹の大樹」表紙と巻頭写真の撮影を担当します。

大浜みやこカボチャが SAMA 手稲店特別メニューに！

Curry&CafeSAMA 手稲店で、10月のマンスリーカレーに大浜みやこカボチャが使われました。メニュー名は「かぼチーズボールカレー」！大浜みやこが練り込まれたもちもちのチーズボールに加え、素揚げのカボチャもカレーにイン。

地域を代表する野菜・大浜みやこを使って、地元を盛り上げよう！というSAMAさんと経済部職員の想いが一致し、実現しました。



販売中に
紹介できず
すみません

「かぼチーズボールカレー」は限定メニューのため、現在は販売されていませんが、SAMAさんのスープカレーは今日も美味しく提供中。

**SAMA
手稲店**

TEL 011-590-0483
手稲区前田5条10丁目
5-10

※店舗情報詳細はホームページ等でご確認ください。